Creative Enzymes®

大腸菌由来アルコール脱水素酵素（NADP+依存性）、組換え品

Cat. No. NATE-1589

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アルコール脱水素酵素 [NADP+] は、アルデヒド還元酵素またはアルド-ケト還元酵素ファミリー1メンバーA1としても知られており、ヒトではAKR1A1遺伝子によってコードされています。この遺伝子は、40以上の既知の酵素とタンパク質からなるアルド/ケト還元酵素スーパーファミリーのメンバーをコードしています。このメンバーはアルデヒド還元酵素としても知られ、生物由来および外因性アルデヒドの還元に関与しており、ほぼすべての組織に存在します。この遺伝子の選□的スプライシングは、同じタンパク質をコードする2つの転写バリアントを生成します。
別名	EC 1.1.1.2; 芳香族アルコール脱水素酵素; アルコール:NADP+ 酸化還元酵素; AKR1A1; ALDR1; ALR; ARM; DD3; HEL-S-6; アルデヒド還元酵素; アルドケト還元酵素ファミリー1メンバーA1; アルコール脱水素酵素 (NADP+); アルデヒド還元酵素 (NADPH2); NADP-アルコール脱水素酵素; NADP+-アルデヒド還元酵素; NADP+-依存性アルデヒド還元酵素; NADPH-アルデヒド還元酵素; NADPH-依存性アルデヒド還元酵素; 非特異的コハク酸半アルデヒド還元酵素; ALR 1; 低Kmアルデヒド還元酵素; 高Kmアルデヒド還元酵素; アルコール脱水素酵素 (NADP)

製品情報

種	E. coli
由来	E. coli
形態	液体
EC番号	EC 1.1.1.2
CAS登□番号	9028-12-0
活性	>500 U/ml
単位定義	1 Uは、pH 7.0および30°Cで1μmolのアセトンを1分あたりに減少させる酵素の量に相当します（補因子としてNADPHを使用）。